

(別紙)

厚生労働省の業務改善事例 (平成22年9月第3週までの報告分)

○改善事例1

「ハローワーク新卒応援通信」の発行

【改善点】

大学等で学生の就職支援事務に携わっている方に対し、ハローワークで行っているサービスやイベント情報、その他役立つ情報を定期的に提供することを目的に、メールマガジン「ハローワーク新卒応援通信」を発行しました。(9月3日に第1号を、9月10日に第2号を発行しています。)

この「ハローワーク新卒応援通信」は、一般の学生の方でも登録できます。

メールマガジンの配信をご希望の方は、

- ① 厚生労働省若年者雇用対策室 (jyakunen@mhlw.go.jp) までメールでお申し込みいただくか、
- ② 各都道府県労働局の職業安定課まで電話でお申し込み下さるようお願いします。

※ 各都道府県労働局の職業安定課の連絡先については、以下を御参照下さい。
<http://www.mhlw.go.jp/general/sosiki/chihou/index.html>

(照会先)

職業安定局派遣・有期労働対策部

若年者雇用対策室 若年者雇用対策係 (内線 5775)

○改善事例 2

高額療養費制度に関する手引きの充実

【概要】

高額療養費制度（こうがくりょうようひせいど）とは、公的医療保険における制度の一つで、医療機関や薬局の窓口で支払った額が、暦月（月の初めから終わりまで）で一定額を超えた場合に、その超えた金額を支給する制度です。

この高額療養費制度について、制度の概要や支給を受けるための手続をより広く、分かりやすく国民の皆さまにお知らせするため、「手引き」を作成し、厚生労働省ホームページに掲載していましたが、今般、この「手引き」について、病院で複数の診療科を受診した場合の取扱いを盛り込むなど、その充実に図りました。（9月8日）

（参考）高額療養費制度を利用される皆様へ

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryouhoken/iryouhoken13/100714.html>

（照会先）

【制度一般について・被用者保険に加入されている方】

保険局保険課（内線 3247）

【国民健康保険に加入されている方】

保険局国民健康保険課（内線 3258）

【後期高齢者医療制度に加入されている方】

保険局高齢者医療課（内線 3199）

○改善事例 3

輸入食品監視業務の質の向上に向けた取組（現場担当者との意見交換等）

【改善点】

輸入食品監視業務の一層の質の向上を図るため、本省食品安全部と各検疫所（※）の輸入食品担当者による会議を開催し、各検疫所における輸入食品監視業務に係る問題点、疑義等について、本省と現場担当者が意見交換等を行い、現場との意思統一を図りました。（9月7日）

意見交換では、

- ・ 諸外国における食中毒事例を基に、日本における輸入食品の体制強化を図っているところであるが、現地における対応状況について情報提供してほしい。
- ・ 輸入状況等の変化によりモニタリング計画どおりの実施が困難な場合は、輸入実態に即した効果的な検査ができるよう必要に応じ計画の見直しをお願いしたい。

といった御意見等をいただきました。

今後とも、現場との連携を密にしながら、輸入食品監視業務を的確に行ってまいります。

（※）小樽、仙台、成田空港、東京、横浜及び新潟検疫所

（照会先）

医薬食品局食品安全部企画情報課

検疫所業務管理室 輸入監視係（内線 2469）

○今週の現場訪問・意見交換 1

自立支援センターへの現場訪問

【概要】

福祉に関する地方自治体、施設等の現場の実情を把握する一環として、9月6日、社会・援護局の職員が自立支援センター西成（大阪市）を訪問し、同センターの職員等と意見交換を行いました。

現場訪問・意見交換では、次のような実態が把握・確認できました。

- ・ 「自立支援センター西成」は、社会福祉法人「大阪自彊館」が運営する、野宿生活社を入所させ、自立を促進するための施設。
- ・ 入所者 48 名、就労者 24 名、求職活動中の者 24 名。平均年齢 42 歳（9月6日時点）。
- ・ 職員の方の話では、最近の入所者は、かつての建設関係従事者ではなく、一般社会から直接野宿者となった者が増加し、年齢も低年齢化しているとのこと。
- ・ 学歴が低く、長期間仕事を続けたことがないような 10 代の若者も中には散見され、これらの者は生活保護申請を気軽に行う傾向があるとのこと。
- ・ 就労意欲がなく、就労支援以前の、規則正しい生活を送ることの指導から始めなければならない人が半数以上いるとのこと。
- ・ また、精神疾患が疑われる者も増加しており、従来の援助技術で対応が困難になってきているとのこと。
- ・ あいりん地区では、本年に入って、貧困ビジネス業者らしい不動産業者が目立つようになったとのこと。

（照会先）

社会・援護局地域福祉課 生活改善係（内線 2855）

○今週の現場訪問・意見交換 2

臓器移植に関する現場訪問・意見交換

【概要】

9月9日、(社)日本臓器移植ネットワークで行われた腎(じん)臓移植のシミュレーションに参加しました。

具体的には、同ネットワークのコーディネーターが中心となって、さまざまな病状や待機期間の患者さんの例を設定して移植希望者(レシピエント)選択基準に当てはめるシミュレーションを行い、その運用状況を確認しました。

引き続き、同ネットワークにおいて継続してシミュレーションをお願いし、今後の移植希望者(レシピエント)選択基準についての検討に役立てることといたしました。

(照会先)

健康局疾病対策課臓器移植対策室(内線 2362/2366)

(注) この資料は、厚生労働省内の各部局において実施した業務改善事例や実態把握のための取組の中から、主なものを抜粋し、取りまとめたものです。